

## 点検・改善促進のための現地活動について

## 1 目的

昨年度の議論において、『検討の視点はいずれも重要であるが、多く有り過ぎても何から手がけて良いのか現場は混乱する』というご意見をはじめ、各地域の事情を踏まえた点検・改善の促進を図ること重要であるという委員からの指摘があった。

このため、現在、各地域において、酪肉近代化計画や酪農生産基盤の回復に向けた取組計画の策定に向けた議論が行われていることから、これらの計画策定を始め、地域における酪農生産活動の点検・改善の取組を促進するため、乳用牛ベストパフォーマンス実現会議の委員が全国の数地域に出向き、それぞれの専門的知識の観点からの技術的助言を行う現地活動を実施する。

## 2 スケジュール（案）

8～9月にかけて全国3か所程度の酪農地域で開催

（@北海道、熊本、宮崎）

## 3 点検・改善促進のための現地活動の開催方式

（1）状況把握のための現地調査

（2）酪農生産活動の点検・改善会合

現地側：県、市町村、地元農業組織、酪農家

会議側：乳用牛ベストパフォーマンス実現会議委員（5名程度）、農林水産省畜産振興課職員、家畜改良事業団等